

鎌倉 パートナーズ



(御霊神社 面掛行列/ 西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第84号 平成29年9月発行(季刊)

発行/編集: 鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

リレートーク No.4

こんな市民活動しています!

～ドローンの普及と振興を目指して～



青柳正紀さん

一般社団法人鎌倉ドローン協会
代表理事

<http://www.jkda.jp>

リレートークとは: 鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思ひます。

是非、お知らせください。

鎌倉の行事、花を撮影していた私がドローンに出会ったのは4年前、ドローンで空撮していた方と知り合いになり、その映像に感銘を受け早速ドローンに取り組みました。上空からの風景撮影に始まり、多くの寺社や警察・消防署等の方々と交流する中で、災害対策や行事・イベントにおけるドローンの活用等、地域貢献の可能性を感じるとともに、ドローンを安全に利用するための教育やルール作りが欠かせないと思うようになりました。そこで今年6月にドローン仲間7人と共にドローンの普及と振興を目的とした当協会を設立し、鎌倉市を中心に活動を開始いたしました。

設立から現在まで短い期間ではありますが、災害・防災対策を中心に活動する中で多くの方のご協力もあり、鎌倉市による総合防災訓練への参加(ドローンによる情報収集訓練)、神奈川県鎌倉警察署との「災害発生に伴う活動支援に関する協定」の締結に至りました。日頃より様々なケースを想定して訓練を積み重ね、災害の際には関係機関と協力し、少しでも市民の皆様のお役に立てればと思ひます。

また、先月にはかまくら市民活動フェスティバルに参加し、国内外での空撮映像の紹介やドローンの展示、体験フライトシミュレーションやデモフライトなどをご紹介させていただきました。フェスティバルには今回初めての参加でしたが、お陰様で多くの方に当協会ブースにご来場いただき、ドローンに興味を持って頂けたと感じております。他の参加法人様と今後連携を図れればと思ひます。

スケジュールは未定ですが、今後当協会のパイロット資格を有するメンバーによる、ドローンの実技、座学等のレッスンを予定しております。市民の皆様とドローンによる交流が早期に実現できるよう活動していく所存です。ご興味のある方は是非一緒に活動してみませんか。ホームページの問い合わせフォームよりご連絡いただければと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

第19回 かまくら市民活動フェスティバル

鎌倉の市民活動 これまでの50年、これからの50年

◆「第19回 かまくら市民活動フェスティバル」を終えて

心配された雨にも祟られず、夏の暑さにも負けず、8月19日、20日の2日間で約1,000名の来場者をお迎えして、第19回かまくら市民活動フェスティバルが開催されました。

今年は鎌倉の市民活動の原点となった御谷騒動～古都保存法の制定から51年目にあたり、秋には市民活動を推進するための条例が制定される見込みの年ということもあり、フェスティバルの全体テーマを「鎌倉の市民活動～これまでの50年、これからの50年」としました。鎌倉の昔と今を比較する写真の展示、これからの市民活動に大きく関わる条例について理解を深めるシンポジウム、里山の自然の中での生きいきした子育てを知る映像とトークイベント、学生ボランティアの参加等々、様々な展示や企画の中にも鎌倉の過去と未来を改めて考える機会を随所に盛り込みましたが、いかがでしたでしょうか？

新規登録団体の積極的な出展や単に説明するだけにとどまらず来場者を巻き込む参加型・体験型の出展が多く見られたのも今年の特徴でした。また新しい試みとして行政・市民活動団体との協働を模索する企業の出展もありました。今回は叶いませんでしたが地域の自治・町内会と市民活動団体の協働や複数の市民活動団体間の共催企画もフェスティバルの課題として今後の実現につなげていきたいところです。

来年はフェスティバルも20周年を迎えます。これまでの経験を活かしながら、さらに充実し広く市民の皆さんに愛されるフェスティバルを目指したいと思います。

最後になりましたが、参加団体の皆さま、市職員各位、学校関係各位、ボランティアの皆さま、市民活動センタースタッフ、そして実行委員会のメンバー、全ての方々のご助言・ご協力なしには今回のようなフェスティバルの実現はあり得ませんでした。ここに委員会を代表してお礼を申し上げます。

(フェスティバル実行委員会 委員長 西畑直樹)



▲左から、鎌倉今昔写真展、団体活動紹介パネル展示、ロボット製作のワークショップ



▲鎌倉にちなんだ夏の音楽&ダンスイベント



◆ 講演会・シンポジウム・トークイベント

「となりまちの新しい市民活動」と題して、逗子で活躍されている田中尚武さんに市民活動のポイントを活動拠点やヒューマンウェアの必要性、長期的なビジョンや行政との協働などの事例を交えてお話いただきました。続くシンポジウムでは市民活動推進条例検討委員会のメンバーをお招きし、条例策定に至った背景や新しい条例に期待することをお話いただきました。会場から意見や質問が多数あり、この条例に対する期待と関心の深さが伺えました。トークイベントでは冒頭に里山での子育てや環境保全活動の様子を伝える映像を流した後、実際に子育てや環境保全に関わるパネラー同士が、活動の現状や将来の希望について和やかに意見を交換する展開となりました。



▲講演会、シンポジウム「あなたならどう活かす？市民活動推進条例」



▲トークイベント「古都の森と楽しい子育て」

◆ 高校生ボランティアが大活躍

会期が学校の夏休み期間中でしたので、市内の学生にボランティア参加を呼び掛けたところ多数の応募があり、フェスティバルの運営に関わっていただくことになりました。高校生主体によるミニ茶会、トークイベントの司会、音楽団体とのダンスのコラボレーション、ワークショップの運営や販売の補助まで若い世代の縦横無尽の働きが会場の活気を作ってくれました。学生の方々の参加は未来の鎌倉の市民活動の希望です。今回の体験が彼らにとって市民活動への理解や関心が深まるきっかけとなることを願わずにはられません。



◆ フェスティバルに参加して（高校生の感想より）

- ・ たくさんの方と交流できて有意義な時間でした。
- ・ 伝統的な文化から最先端の技術まで鎌倉には様々な魅力があると思いました。
- ・ バザーのお手伝いが楽しかった。沢山売れてよかったです。
- ・ 経験したことのないボランティア活動を知り、視野が広がりました。
- ・ 地域協力の楽しさ、大切さを知ることができました。
- ・ 鎌倉市のボランティア活動が盛んなことがとてもよくわかりました。
- ・ フェスティバルは「自由な発表の場」という感じがしました。「鎌倉をより良くする」というよりは「皆に楽しんでほしい。視野を広げて欲しい」というように思いました。
- ・ とても充実した時間で、少し大変な仕事も達成感があってよかったです。
- ・ リサイクルブロックで子どもたちと遊ぶ手伝いをしました。いつも捨てられている空袋がブロックになり、しかもさわり心地も匂いもいい香りでリサイクルはすごいと思いました。
- ・ いろいろな体験ができました。また、このようなボランティアができればと思います。



▲ミニ茶会での呈茶の様子



▲リサイクルブロックのワークショップ

センターからのお知らせ

研修会・ワークショップの報告

＜市民活動団体広報PR研修＞

開催日時：7月15日(土) 会場：センター大船
参加団体：6団体9名

参加者からは「講師の説明がわかりやすかった」「PRする際に広報の対象、方法、メディアの選択が大事なことがよくわかった」などの声がありました。

＜ものづくり教室(プチロボを作って走らせてみよう)＞

開催日時：8月19日(土)、20日(日)
会場：鎌倉生涯学習センター地下ギャラリー
参加人数：9名

遠くから有線で運転操作できるプチロボを作りました。はんだ付けの作業に少し時間がかかりましたが、後日全員のプチロボが完成し、夏休みの宿題にしていたお子さんも一安心。完成したロボットを自由自在に操縦し、とても楽しそうでした。

登録内容確認ありがとうございました！

ご返答いただきました変更、修正等につきましては、毎月20日の時点で随時修正をしておりますのでご確認お願いいたします。

今後とも、登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)に変更がありました場合は、速やかにご連絡いただきますようお願いいたします。

第2回懇話会を開催します

開催日時：9月30日(土) 14時～17時

会場：たまなわ交流センター 2階

米国人のゲストスピーカーをお迎えして、「外国人にやさしい鎌倉のまちづくりのために市民活動は何ができるか」を考えるワークショップを行います。特に「観光」「まちづくり」「コミュニケーション」に関心のある方は是非ご参加ください。

新規登録団体の紹介 (平成29年7月31日現在)

★**クラブ・アカデミア2020**：2020東京オリンピック・パラリンピックでコミュニケーション支援ボランティアとして、フランス語で国際交流を目指すボランティア団体。

★**いろんなカタチ鎌倉**：発達支援・特別支援教育への理解・啓発・つながりづくりに係る活動。発達の多様性を尊重する共生社会の推進。

★**女声合唱団ミモザの会**：いつまでもコーラス現役でいられるための体力作り(楽器作り)をしながら技術向上をめざし、演奏会の収益を東日本大震災復興支援グループをとおして寄付する活動。

★**神奈四を考える会**：神奈川県の子どもの貧困、若者の非正規の問題等について情報交換し市議会に働きかける活動。(子どもの貧困、若者の非正規の問題等)

★**クリエイティブ音楽ムーブメント**：音楽療法を取り入れ、発達学、心理学などの研究をベースに子どもたち一人ひとりの表現力や感受性を大切に育む活動。

★**一般社団法人鎌倉ドローン協会**：新たな可能性を有するドローン技術の活用を基に、ドローン利用者への法的教育、飛行マナーの啓発、パイロットの育成、空撮により得られる情報提供を行う活動。

★**カマコン**：鎌倉を中心に「この街を愛する人」を支援。クラウドファンディング「iikuni」の運営。

★**鎌倉平和憲法を守る会**：平和憲法について講演会、学習会を開催し市民と討論する活動。

★**鎌倉常盤山の会**：野村研究所跡周辺一帯の自然、景観、歴史資産を保全し、鎌倉を愛する日本中の人が訪れるような場所にするための活動。

★**かまくらあそび楽宿**：福島の子どもたちを鎌倉に招き、お寺に泊まり海で遊んでもらう活動を企画、開催。

★**かまくらっぷ**：地域活性を目指した地域密着マップ型情報サイトやイベントを定期的実施。

★**傾聴ボランティア うさぎの耳**：老人ホーム、デイサービスなどでの傾聴ボランティア活動。

編集後記：今年度は、「かまくら市民活動フェスティバル」が初めて8月に開催されました。夏休みということもあり、多くの生徒、学生がボランティアとして参加しました。若い力の躍動、鎌倉らしさを前面に出した企画、フェスティバルを盛り上げてくださった多くの団体や会員の活躍ぶり・・・、皆様に報告したい内容が多くあり、少ない紙面の使い方に苦労しました。また、団体の活動を紹介することも広報紙の役割の一つと考えています。より良い紹介の形を模索中です。(道)

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
TEL：0467-60-4555 (直通)
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

平成29年8月31日現在 **利用登録団体数：352団体**

※ 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)に変更があった場合は、速やかにお知らせください。